

# 平成 28 年度

## 第 5 回足立区環境審議会資料

### <審議事項>

- 審議事項 1 第三次足立区環境基本計画（案）のパブリックコメント（区民意見募集制度）の実施結果について
- 審議事項 2 第三次足立区環境基本計画（案）の一部変更について
- 審議事項 3 第三次足立区環境基本計画の用語解説（案）について

### <報告事項>

- 報告事項 1 他区の環境に関する指標や目標値等について

### <別冊資料>

- 別冊資料 1 第三次足立区環境基本計画（案）
- 別冊資料 2 用語解説（案）



| <p>件 名</p>   | <p>第三次足立区環境基本計画（案）のパブリックコメント（区民意見募集制度）の実施結果について</p>  |  |       |     |  |   |  |                                    |
|--|--|--|-------|-----|--|---|--|------------------------------------|
| <p>所管部課</p>  | <p>環境部環境政策課</p>  |  |       |     |  |   |  |                                    |
| <p>事業（結果）の概要</p>   | <p>1 パブリックコメントの実施期間<br/>平成 28 年 11 月 1 日（火）から 30 日（水）まで</p> <p>2 周知方法<br/>・あだち広報 10 月 25 日号への掲載</p> <p>3 パブリックコメントの実施方法<br/>・足立区ホームページ「パブリックコメント受付中」に計画案とチラシ（3, 4 ページ）を掲載<br/>・以下の場所において計画案とチラシ（3, 4 ページ）の配布<br/>本庁舎（環境政策課、政策経営課、区政情報室、中央本町区民事務所）及び各区民事務所、中央図書館</p> <p>4 寄せられた意見と意見を踏まえた対応<br/>1 人から 2 件の意見が寄せられた。</p> <table border="1" data-bbox="395 1211 1385 1975"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1211 890 1261">意見の概要</th> <th data-bbox="890 1211 1385 1261">対応案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1261 890 1883"> <p>P24 の 1-1-②「高効率な設備・機器への更新」に、「省エネ設備・機器への買い替え支援」や「家庭用燃料電池（エネファーム）など高効率な設備・機器の導入促進」等が掲げられている点について、低炭素社会の実現に向けて大変有効な手段であると賛同する。</p> <p>さらに 2017 年度に市場投入を目指している業務用燃料電池についても導入促進を検討してほしい。</p> </td> <td data-bbox="890 1261 1385 1883"> <p>意見の主旨は、業務用燃料電池の導入促進についての要望である。</p> <p>計画（案）の内容に関する意見ではなく、施策に対する要望であるため、計画策定後、施策の具体的な取組みを展開する際の参考意見とする。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1883 890 1975"> <p>P21 の施策群 1-2「低炭素なエネルギーの利用拡大」の、「将来</p> </td> <td data-bbox="890 1883 1385 1975"> <p>意見の主旨は、燃料電池導入に対する補助金についての要望</p> </td> </tr> </tbody> </table> |  | 意見の概要 | 対応案 | <p>P24 の 1-1-②「高効率な設備・機器への更新」に、「省エネ設備・機器への買い替え支援」や「家庭用燃料電池（エネファーム）など高効率な設備・機器の導入促進」等が掲げられている点について、低炭素社会の実現に向けて大変有効な手段であると賛同する。</p> <p>さらに 2017 年度に市場投入を目指している業務用燃料電池についても導入促進を検討してほしい。</p> | <p>意見の主旨は、業務用燃料電池の導入促進についての要望である。</p> <p>計画（案）の内容に関する意見ではなく、施策に対する要望であるため、計画策定後、施策の具体的な取組みを展開する際の参考意見とする。</p> | <p>P21 の施策群 1-2「低炭素なエネルギーの利用拡大」の、「将来</p> | <p>意見の主旨は、燃料電池導入に対する補助金についての要望</p> |
| 意見の概要  | 対応案  |  |       |     |  |   |  |                                    |
| <p>P24 の 1-1-②「高効率な設備・機器への更新」に、「省エネ設備・機器への買い替え支援」や「家庭用燃料電池（エネファーム）など高効率な設備・機器の導入促進」等が掲げられている点について、低炭素社会の実現に向けて大変有効な手段であると賛同する。</p> <p>さらに 2017 年度に市場投入を目指している業務用燃料電池についても導入促進を検討してほしい。</p> | <p>意見の主旨は、業務用燃料電池の導入促進についての要望である。</p> <p>計画（案）の内容に関する意見ではなく、施策に対する要望であるため、計画策定後、施策の具体的な取組みを展開する際の参考意見とする。</p>  |  |       |     |  |   |  |                                    |
| <p>P21 の施策群 1-2「低炭素なエネルギーの利用拡大」の、「将来</p>   | <p>意見の主旨は、燃料電池導入に対する補助金についての要望</p>   |  |       |     |  |   |  |                                    |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>的な水素社会に向けた検討」は、将来的な低炭素社会の実現のためには現在の再生可能エネルギーの活用と合わせ重要と認識している。</p> <p>水素の活用例として家庭用燃料電池（エネファーム）の普及を図っており、次年度には業務用燃料電池の市場投入が予定されている。水素社会の実現に向けて、家庭用燃料電池（エネファーム）への補助金の継続および業務用燃料電池への補助金新設等、導入促進への検討をしてほしい。</p> | <p>である。</p> <p>計画（案）の内容に関する意見ではなく、施策に対する要望であるため、計画策定後、具体的な取組みを展開する際の参考意見とする。</p> |
|--|---|--|

## 以下の案件について、区民の皆さんからのご意見を受け付けています

### ◆ 案件の名称

第三次足立区環境基本計画（案）

### ◆ 公表資料

- ・第三次足立区環境基本計画、足立区環境保全行動指針（案）

### ◆ 公表方法及び公表場所

- (1) 区のホームページへの掲載
- (2) 環境部環境政策課（区役所本庁舎南館11階）での閲覧及び配布
- (3) 区民事務所、中央図書館、区政情報課（区役所本庁舎中央館2階）、政策経営課（区役所本庁舎南館9階）での配布

### ◆ 意見の募集方法

#### 【意見の募集期間】

平成28年11月1日（火）～平成28年11月30日（水）

#### 【意見を提出できる人】

- (1) 本区に居住、勤務又は在学する方
- (2) 本区に事務所又は事業所を有する個人、法人、その他の団体
- (3) 施策等の案に直接的な利害関係を有する方

#### 【意見の提出方法】

以下の方法により下記「お問合せ先」までご提出ください。

- (1) 窓口への持参、(2) 郵送、(3) ファクシミリ、(4) 区ホームページの意見受付フォーム入力

※ 郵送の場合は、募集期間末日までの消印のものを有効といたします。

#### 【意見の提出様式】

- ・指定の様式はありません（様式自由）。
- ・ただし、住所、氏名又は名称（法人や団体の場合は代表者名も明記）は必ず記載してください。
- ・題名に“パブリックコメント「第三次足立区環境基本計画（案）」への意見”とご記入ください。

※ 意見を提出された方の住所・氏名・名称・代表者名は公表しません。

#### 【施策等の案についてのお問合せ先（意見の提出先）】

足立区環境部環境政策課計画推進係

住所：〒120-8510 足立区中央本町1-17-1（区役所本庁舎南館11階）

電話：03(3880)6049

F A X：03(3880)5604

電子メール：[kankyo-keikakutanto@city.adachi.tokyo.jp](mailto:kankyo-keikakutanto@city.adachi.tokyo.jp)

## ◆ 意見募集の趣旨

足立区環境基本計画とは、足立区環境基本条例第8条に基づき地域の環境を総合的かつ計画的に保全するとともに、地球環境の保全に寄与するために策定するもので、環境の保全に関する目標や施策の体系などを定めます。

現行計画が、平成28年度までで終了するため、現在、新計画となる第三次足立区環境基本計画を策定しています。

今回は、この計画案について、みなさんからの意見を募集いたします。

## ◆ 意見の概要及び区の考え方の公表予定時期

### 【公表予定時期】

平成28年12月頃

- ・いただいたご意見は、ご意見の概要や、これに対する区の考え方などをとりまとめた上で、担当課窓口及び区のホームページでお知らせする予定です。
- ・なお、いただいたご意見に対しての個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

### 【パブリックコメント制度全般についてのお問合せ先】

足立区政策経営部政策経営課（区役所本庁舎南館9階）

電話：03(3880)5811　FAX：03(3880)5610

電子メール：seisaku@city.adachi.tokyo.jp

|           |  |
|-----------|--|
| 件名        | 第三次足立区環境基本計画（案）の一部変更について   |
| 所管部課      | 環境部環境政策課   |
| 事業（結果）の概要 | <p>第三次足立区環境基本計画（案）について、上位計画である基本計画との整合性を図る等の理由により変更する。</p> <p>パブリックコメントを実施した計画（案）との変更点の対照表は、6 ページから 8 ページ、変更後の全体は別冊資料 1（変更点は下線部分）</p> <p><b>1 柱 3 の重点項目の変更</b>（別冊資料 1 19、37 ページ）</p> <p>新たな基本計画に定める重点プロジェクトでは、ごみ屋敷と不法投棄対策が同じプロジェクトになっているため、これと合わせ、柱 3 「安全安心で快適なくらしの確保」の重点項目 7 「ビューティフル・ウィンドウズ運動の推進」の中に位置付けていた「不法投棄対策の推進」を重点 6 に移し、「ごみ屋敷、不法投棄対策の推進」とした。</p> <p><b>2 成果を測る指標への変更</b>（別冊資料 1 48, 59, 91 ページ）</p> <p>新たな基本計画の策定を進める中で、環境基本計画のような個別計画において施策指標及び目標値を設定する際、活動量を測るものではなく、施策の成果を測ることができる指標にすることとされたため、施策群 5-1 の指標を、成果を測ることができる指標に変更した。</p> <p>施策群 5-1 の目標「環境について知る機会を提供し、環境への意識を高める」について、環境に配慮した行動をしている人の割合で、環境意識の高まりを把握しようと考え、区の世論調査で実施している「環境に配慮した製品を選んで使っている」人の割合を指標とした。</p> <p><b>3 その他の変更</b></p> <p>(1) パリ協定の発効と日本の批准に伴う記述の変更（5 ページ）</p> <p>(2) パリ協定内容の要約をよりわかりやすく変更（5 ページ）</p> <p>(3) 条例の規定と表現をあわせる変更（13 ページ）</p> <p>(4) 国土交通省の緑化施設整備計画認定制度については、固定資産税の特例措置が廃止されてから適用された例がなく、この制度を利用するメリットがなく、今後も利用が見込まれないため、削除する。（80 ページ）</p> <p>(5) その他文言整理や表記の統一を実施</p> |

第三次足立区環境基本計画（案）変更点对照表

| ページ | 変更前<br>(パブリックコメントを実施した案)   | 変更後   |
|-----|--|---|
| 5   | <p>この協定は、世界各国が協力して気候変動対策を推進する今までにない枠組みであり、今後、国際的な気候変動対策が進んでいくことが期待されています。</p> <p>&lt;パリ協定の主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇主要排出国を含むすべての国が温室効果ガスの削減目標を5年ごとに提出・更新する</li> <li>◇カンクン合意に基づく2℃目標のみならず、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して1.5℃未満に抑えることについても言及</li> <li>◇共通かつ柔軟な方法でその実施状況を報告し、評価を受ける</li> <li>◇森林吸収源の保全・強化の重要性を認識</li> <li>◇途上国における森林の減少や劣化を抑制する仕組みを構築する</li> </ul> | <p>この協定は、世界各国が協力して気候変動対策を推進する今までにない枠組みです。</p> <p><u>このパリ協定は、55か国かつ世界の温室効果ガス排出量の55%以上の批准という二つの要件を満たし、2016(平成28)年11月4日に発効し、日本も11月8日に批准しました。</u>今後、国際的な気候変動対策が進んでいくことが期待されています。</p> <p>&lt;パリ協定の主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇<u>産業革命前と比較した世界の平均気温上昇の世界共通の長期目標を、カンクン合意に基づく2℃目標のみならず、1.5℃未満に抑えることについても言及</u></li> <li>◇主要排出国を含むすべての国が温室効果ガスの削減目標を5年ごとに提出・更新し、<u>共通かつ柔軟な方法でその実施状況を報告し、レビューを受ける</u></li> <li>◇<u>森林等の二酸化炭素吸収源の保全・強化の重要性について言及</u></li> <li>◇<u>途上国における森林減少・劣化からの排出を抑制する仕組みを構築する</u></li> </ul> |
| 7   | <p>最終的に東京港に埋立て処分をしています、</p>  | <p>最終的に東京湾に埋立て処分をしています、</p>   |
| 8   | <p>この個性ある豊かな生物のつながりを生物多様性といい、</p>  | <p><u>生物の豊かな個性と、それら生物のつながり</u>を生物多様性といい、</p>  |
| 9   | <p>目標3:<br/>生物多様性に有害な補助金を含む奨励措置が廃止、又は改革され、性の奨励措置が策定・運用される。</p>   | <p>目標3:<br/>生物多様性に有害な補助金を含む奨励措置が廃止、又は改革され、<u>正の</u>奨励措置が策定・運用される。</p>   |

| ページ | 変更前<br>(パブリックコメントを実施した案)  | 変更後  |
|-----|---|--|
| 9   | 生物多様性戦略計画 2011-2020 及び<br>(愛知目標)  | 生物多様性戦略計画 2011-2020 ( <u>愛知<br/>目標</u> )   |
| 11  | <p>(図「目指すべき持続可能な社会の姿」右下)<br/>自然共生型社会</p> <p>①政策領域の統合による持続可能な社会の構築(環境・経済・社会、環境政策分野間の連携)</p> <p>2. 国際情勢に的確に対応した戦略的取組みの推進</p> <p>4. 地球温暖化に関する取組み</p> <p>5. 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組み</p> <p>7. 水環境保全に関する取組み</p> <p>8. 大気環境保全に関する取組み</p> <p>9. 包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組み</p> | <p><u>自然共生社会</u></p> <p>①政策領域の統合による持続可能な社会の構築(<u>環境的側面・経済的側面・社会的側面の統合的な向上、環境政策分野間の連携</u>)</p> <p>2. 国際情勢に的確に対応した戦略的<u>取組</u>の推進</p> <p>4. 地球温暖化に関する<u>取組</u></p> <p>5. 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する<u>取組</u></p> <p>7. 水環境保全に関する<u>取組</u></p> <p>8. 大気環境保全に関する<u>取組</u></p> <p>9. 包括的な化学物質対策の確立と推進のための<u>取組</u></p> |
| 13  | <p>足立区環境基本条例は、1999(平成11)年に制定され、区の環境保全に関する基本方針を定め、区・事業者及び区民の役割分担を明らかにするとともに、施策を総合的かつ計画的に推進し、区民の健康で安全な生活の確保と地球環境の保全を目的としています。</p>   | <p>足立区環境基本条例は、1999(平成11)年に制定され、区の環境保全に関する基本<u>理念</u>を定め、<u>区、事業者及び区民の責務</u>を明らかにするとともに、<u>環境の保全に関する施策</u>を総合的かつ計画的に推進し、<u>現在及び将来の区民の健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要な環境を確保し、地球環境の保全に寄与すること</u>を目的としています。</p>  |

| ページ | 変更前<br>(パブリックコメントを実施した案)  | 変更後   |
|-----|---|---|
| 13  | <p>条例第8条において、「区長は、地域の環境を総合的かつ計画的に保全するとともに、地球環境の保全に寄与するために足立区環境基本計画を策定しなければならない」と定められ、環境基本計画が位置付けられています。環境基本計画には、地域の環境を保全するだけでなく地球環境の保全に寄与することも求められています。</p>   | <p>条例第8条において、「区長は、地域の環境を総合的かつ計画的に保全するとともに、地球環境の保全に寄与するために足立区環境基本計画を策定しなければならない」と、<u>環境基本計画の策定が義務付けられています。</u></p>   |
| 14  | <p>これまで進めてきた「協働」をさらに強化、発展させ、</p> <p>これは、上位計画である区の将来像を踏まえたものとしませんが、</p> <p>足立区は、住宅都市でもあり、中小工場や事業者の多いまちでもあります。</p> <p>ひとりひとりの環境保全への取組みが大きな力となる可能性を秘めていることも示しています。ひとりひとりが未来の地球を想い、</p>                   | <p>これまで進めてきた「協働」をさらに<u>深化</u>、発展させ、</p> <p>これは、上位計画である<u>基本構想</u>の区の将来像を踏まえたものとしませんが、</p> <p>足立区は、住宅都市でもあり、<u>中小事業者</u>の多いまちでもあります。</p> <p><u>一人ひとり</u>の環境保全への取組みが大きな力となる可能性を秘めていることも示しています。<u>一人ひとり</u>が未来の地球を想い、</p>      |
| 19  | <p>(No.6 の名称)<br/>ごみ屋敷対策の推進</p> <p>(No.6 の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 迅速な現場確認</li> <li>● 医療・保健・介護・福祉等関連所管との連携</li> <li>● 日常的な見守りなど再発防止策の実施</li> <li>● 空き家・空き地の所有者に対する</li> </ul> | <p>(No.6 の名称)<br/>ごみ屋敷・<u>不法投棄</u>対策の推進</p> <p>(No.6 の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>医療・福祉等関連所管と連携したごみ屋敷への対応</u></li> <li>● 日常的な見守り等<u>ごみ屋敷再発防止策</u>の実施</li> <li>● <u>不法投棄の防止対策、予防対策の推進</u></li> </ul> |

| ページ | 変更前<br>(パブリックコメントを実施した案)  | 変更後   |
|-----|---|---|
| 19  | <p>管理適正化の啓発</p> <p>(No.6 の関連施策)<br/>3-1-④</p> <p>(No.7 の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不法投棄対策の推進</li> <li>● 美化推進活動の支援</li> <li>● 歩行喫煙防止対策の推進</li> <li>● 放置自転車の防止</li> <li>● 花いっぱい運動の推進</li> </ul> <p>(No.7 の関連施策)<br/>2-3-①<br/>3-1-④<br/>3-2-②</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>不法投棄総合窓口と関連所管の連携による迅速な対応</u></li> </ul> <p>(No.6 の関連施策)<br/><u>2-3-①</u><br/>3-1-④<br/><u>3-2-②</u></p> <p>(No.7 の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (No.6 に移行のため削除)</li> <li>● 美化推進活動の支援</li> <li>● 歩行喫煙防止対策の推進</li> <li>● 放置自転車の防止</li> <li>● 花いっぱい運動の推進</li> </ul> <p>(No.7 の関連施策)<br/>3-1-④</p> |
| 30  | 2024 年度 161,400t (2015 年度実績 181,200t から 11%減)   | <u>2024 年度 161,400t (2015 年度実績 181,248t から 11%減)</u>  |
| 37  | <p>重点 6 ごみ屋敷対策の推進</p> <p>個々の事例に合わせたきめ細かなごみ屋敷対策を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 迅速な現場確認</li> <li>● 医療・保健・介護・福祉等関連所管との連携</li> <li>● 日常的な見守りなど再発防止策の実施</li> <li>● 空き家・空き地の所有者に対する管理適正化の啓発</li> </ul>  | <p>重点 6 ごみ屋敷・<u>不法投棄対策</u>の推進</p> <p>個々の事例に合わせたきめ細かなごみ屋敷・<u>不法投棄対策</u>を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>医療・福祉等関連所管と連携したごみ屋敷への対応</u></li> <li>● <u>日常的な見守り等ごみ屋敷再発防止策の実施</u></li> <li>● <u>不法投棄の防止対策、予防対策の推進</u></li> <li>● <u>不法投棄総合窓口と関連所管の連携による迅速な対応</u></li> </ul>   |

| ページ | 変更前<br>(パブリックコメントを実施した案)  | 変更後   |
|-----|---|---|
| 37  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不法投棄対策の推進</li> <li>● 美化推進活動の支援</li> <li>● 歩行喫煙防止対策の推進</li> <li>● 放置自転車の防止</li> <li>● 花いっぱい運動の推進</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● (No.6 に移行のため削除)</li> <li>● 美化推進活動の支援</li> <li>● 歩行喫煙防止対策の推進</li> <li>● 放置自転車の防止</li> <li>● 花いっぱい運動の推進</li> </ul> |
| 48  | <p>指標 SNSなどによる情報発信回数</p> <p>2024年度 610回 (2015年度実績 507回から20%増)</p>   | <p>指標 <u>環境に配慮した製品を選んで使う人</u></p> <p>2024年度 <u>25%</u> (2015年度実績 <u>15.3%</u>から9.7ポイント増)</p>  |
| 58  | <p>(施策群 2-3 区内のごみ量の2015年度実績値)</p> <p>181,200t</p>   | <p>(施策群 2-3 区内のごみ量の2015年度実績値)</p> <p><u>181,248t</u></p>  |
| 59  | <p>(施策群 5-1 指標)</p> <p>SNSなどによる情報発信回数<br/>(施策群 5-1 2015年度実績値)<br/>507回<br/>(施策群 5-1 2024年度目標値)<br/>610回</p>   | <p>(施策群 5-1 指標)</p> <p><u>環境に配慮した製品を選んで使う人</u><br/>(施策群 5-1 2015年度実績値)<br/><u>15.3%</u><br/>(施策群 5-1 2024年度目標値)<br/><u>25%</u></p>                        |
| 80  | <p>(事業者の行動の4番目の項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所の建設や開発事業を実施する際は、国の緑化施設計画認定制度などを活用する。</li> </ul>  | <p>(削除)</p>   |
| 91  | <p>(施策群 5-1 の指標)</p> <p>SNSなどによる情報発信回数<br/>(施策群 5-1 の指標の定義)</p> <p>環境部が以下のツールを使って環境に関する情報を発信した回数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホームページの更新回数</li> <li>2 あだち広報の掲載回数</li> <li>3 区施設の窓口や広報スタンドに配置したチラシの種類</li> <li>4 Twitter でのつぶやき数</li> <li>5 Facebook への投稿数</li> </ol> | <p>(施策群 5-1 の指標)</p> <p><u>環境に配慮した製品を選んで使う人</u><br/>(施策群 5-1 の指標の定義)</p> <p><u>足立区政に関する世論調査で、環境のために心がけていることとして、「環境に配慮した製品を選んで使っている」と回答した人の割合</u></p>      |

|           |  |
|-----------|--|
| 件名        | 第三次足立区環境基本計画の用語解説（案）について   |
| 所管部課      | 環境部環境政策課   |
| 事業（結果）の概要 | <p>第三次足立区環境基本計画の資料編に掲載する予定の用語解説（案）を作成した。（別冊資料 2）</p> <p>用語解説（案）は計画書本編の資料編に盛り込み、用語解説に記載されている語に印をつけて、参照できるようにする。</p> |

|           |   |
|-----------|---|
| 件 名       | 他区の環境に関する指標や目標値等について  |
| 所管部課      | 環境部環境政策課  |
| 事業（結果）の概要 | <p>前回の環境審議会で、指標や目標値等の他区の状況についてご質問があったので、別紙のとおり調査結果をまとめた。</p> <p><b>1 温室効果ガス等削減目標（13, 14 ページ）</b></p> <p>温室効果ガスの削減目標を定めている環境基本計画や地球温暖化対策地域推進計画の策定状況と、削減目標を一覧表にした。</p> <p><b>2 環境基本計画の指標（15～21 ページ）</b></p> <p>直近 5 年間に環境基本計画を策定した板橋、大田、北、江東、品川、新宿、杉並、墨田、世田谷、台東、豊島、中野、港、目黒（50 音順）の 14 区の計画の指標の中から、第三次足立区環境基本計画の指標ごとに類似しているものを抜きだして一覧表にした。</p> |

## 他区の温室効果ガス等削減目標を定めた計画一覧

(※五十音順で表記)

| 区名  | 計画名                       | 策定年月     |
|-----|---------------------------|----------|
| 荒川  | 荒川区低炭素地域づくり計画             | 2010年10月 |
| 板橋  | 板橋区環境基本計画2025             | 2016年3月  |
| 江戸川 | エコタウンえどがわ推進計画             | 2008年2月  |
| 大田  | 大田区環境基本計画                 | 2012年3月  |
| 葛飾  | 葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）     | 2013年3月  |
| 北   | 北区地球温暖化対策地域推進計画           | 2008年3月  |
| 江東  | 江東区環境基本計画                 | 2015年3月  |
| 品川  | 第二次品川区環境計画                | 2013年3月  |
| 渋谷  | なし                        |          |
| 新宿  | 新宿区第二次環境基本計画              | 2013年2月  |
| 杉並  | 杉並区環境基本計画                 | 2013年3月  |
| 墨田  | 第二次すみだ環境の共創プラン（すみだ環境基本計画） | 2016年3月  |
| 世田谷 | 世田谷区地球温暖化対策地域推進計画         | 2012年3月  |
| 台東  | 台東区環境基本計画                 | 2016年3月  |
| 中央  | 中央区環境行動計画                 | 2008年3月  |
| 千代田 | 千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015     | 2015年3月  |
| 豊島  | 豊島区環境基本計画                 | 2014年3月  |
| 中野  | 第3次中野区環境基本計画              | 2016年3月  |
| 練馬  | 練馬区地球温暖化対策地域推進計画          | 2009年2月  |
| 文京  | 文京区地球温暖化対策地域推進計画          | 2015年3月  |
| 港   | 港区環境基本計画                  | 2015年3月  |
| 目黒  | 目黒区環境基本計画                 | 2012年3月  |

## 温室効果ガス等削減目標の各区比較

(※五十音順で表記)

| 区名  | 2013年度<br>排出量 | 策定年月    | 削減対象            | 基準年度   | 第一期<br>目標年度 | 削減目標   | 第二期<br>目標年度 | 削減目標           |
|-----|---------------|---------|-----------------|--------|-------------|--------|-------------|----------------|
| 足立  | 267.2万トン      | 策定中     | CO <sub>2</sub> | 2013年度 | 2024年度      | △23.0% | 2030年度      | △35.0%         |
| 荒川  | 76.8万トン       | 2010.10 | CO <sub>2</sub> | 2000年度 | 2020年度      | △25.0% | —           | —              |
| 板橋  | 231.8万トン      | 2016.3  | 温室効果ガス          | 2012年度 | 2020年度      | △4.9%  | —           | —              |
| 江戸川 | 253.1万トン      | 2008.2  | CO <sub>2</sub> | 2004年度 | 2017年度      | △14.0% | —           | —              |
| 大田  | 345.5万トン      | 2012.3  | 温室効果ガス          | 1990年度 | 2020年度      | △25.2% | 2050年度      | △80.0%         |
| 葛飾  | 166.5万トン      | 2013.3  | 温室効果ガス          | 2009年度 | 2030年度      | △30.0% | 2050年度      | △77.0%         |
| 北   | 127.2万トン      | 2008.3  | CO <sub>2</sub> | 1990年度 | 2012年度      | △2.0%  | 2017年度      | △3.0%          |
| 江東  | 350.4万トン      | 2015.3  | エネルギー消費量        | 2011年度 | 2019年度      | ±0.0%  | —           | —              |
| 品川  | 234.6万トン      | 2013.3  | 温室効果ガス          | 2006年度 | 2020年度      | △25.0% | —           | —              |
| 渋谷  | 260.8万トン      | —       | —               | —      | —           | —      | —           | —              |
| 新宿  | 340.7万トン      | 2013.2  | 温室効果ガス          | 1990年度 | 2022年度      | △25.0% | —           | —              |
| 杉並  | 184.8万トン      | 2013.3  | エネルギー消費量        | 2010年度 | 2021年度      | △10.0% | —           | —              |
| 墨田  | 138.0万トン      | 2016.3  | 温室効果ガス          | 2000年度 | 2020年度      | △20.2% | 2030年度      | △30.4%         |
| 世田谷 | 322.8万トン      | 2012.3  | CO <sub>2</sub> | 1990年度 | 2020年度      | △10.0% | 2050年度      | △60～80%        |
| 台東  | 133.0万トン      | 2016.3  | CO <sub>2</sub> | 2000年度 | 2019年度      | △19.0% | 2030年度      | △30.0%         |
| 中央  | 259.0万トン      | 2008.3  | CO <sub>2</sub> | 1990年度 | 2012年       | △5.0%  | 2020年       | 2000年比<br>△25% |
| 千代田 | 347.7万トン      | 2015.3  | CO <sub>2</sub> | 1990年度 | 2024年度      | △30.0% | 2050年度      | △80.0%         |
| 豊島  | 180.0万トン      | 2014.3  | 温室効果ガス          | 2011年度 | 2018年度      | △9.6%  | 2025年度      | △33.0%         |
| 中野  | 111.7万トン      | 2016.3  | エネルギー消費量        | 2012年度 | 2020年度      | △5.2%  | 2025年度      | △15.2%         |
| 練馬  | 227.3万トン      | 2009.2  | 温室効果ガス          | 2000年度 | 2012年度      | △8.0%  | 2020年度      | △25.0%         |
| 文京  | 138.8万トン      | 2015.3  | CO <sub>2</sub> | 2005年度 | 2019年度      | △14.0% | —           | —              |
| 港   | 461.3万トン      | 2015.3  | 温室効果ガス          | 2014年度 | 2017年度      | 1.7%   | 2020年度      | 4.9%           |
| 目黒  | 123.8万トン      | 2012.3  | 温室効果ガス          | 2010年度 | 2021年度      | △9.8%  | —           | —              |

## 【環境基本計画における指標の比較表】

対象：直近5年間に環境基本計画を策定した板橋、大田、北、江東、品川、新宿、杉並、墨田、世田谷、台東、豊島、中野、港、目黒の14区

### 施策群1-1 省エネに関する指標

| 区名 | 指標の名称                   | 指標の内容                             | 現状（年度）       | 目標（年度）       | 増減        |
|----|-------------------------|-----------------------------------|--------------|--------------|-----------|
| 足立 | 省エネルギーを心がけている人          | 世論調査で省エネに心がけていると答えた人の割合           | 54.6% (2015) | 70.0% (2024) | 15.4ポイント増 |
| 北  | 新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計数 | 新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入助成を受けた住宅、事業者等 | 775件 (2013)  | 増加           |           |

### 施策群1-2 低炭素なエネルギーに関する指標

| 区名  | 指標の名称                   | 指標の内容                                       | 現状（年度）          | 目標（年度）          | 増減      |
|-----|-------------------------|---|-----------------|-----------------|---------|
| 足立  | 区内の再生可能エネルギーの導入容量（累計）   | 資源エネルギー庁の公表データ                              | 31,788kW (2015) | 36,000kW (2024) | 13.3%増  |
| 板橋  | 区内の住宅用太陽光発電システム導入発電容量   | 区の補助を受け設置された住宅用太陽光発電システムの発電容量               | 4,611kW (2014)  | 増加              |         |
| 大田  | 太陽光発電システムの設置件数          | 区の補助件数                                      | 975件 (2010)     | 3,400件 (2021)   | 3.5倍に増加 |
| 北   | 新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計数 | 新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入助成を受けた住宅、事業者等           | 775件 (2013)     | 増加              |         |
| 墨田  | 太陽光発電システム、太陽熱利用システムの導入  | 墨田区地球温暖化防止設備導入助成制度で削減できたCO <sub>2</sub> 排出量 | 1,015t (2014)   | 1,600t (2025)   | 57.6%増  |
| 世田谷 | 太陽光発電設備の普及              | 資源エネルギー庁の公表データの件数                           | 5,300件 (2013)   | 11,300件 (2023)  | 2.1倍に増加 |
| 台東  | 再生可能エネルギー機器導入累計世帯       | 区の補助で導入した世帯数                                | 252世帯 (2015)    | 500世帯 (2019)    | 2.0倍に増加 |

### 施策群1-3 気候変動適応に関する指標

| 区名 | 指標の名称        | 指標の内容             | 現状（年度）      | 目標（年度）      | 増減     |
|----|--------------|-------------------|-------------|-------------|--------|
| 足立 | 熱中症で搬送される患者数 | 東京消防庁救急部で把握している件数 | 314人 (2015) | 160人 (2024) | 49.0%減 |

14区の中に指標を定め、気候変動の適応に関する具体的な目標を設定している区はなかった。

## 施策群2-1 ごみ減量に関する指標

| 区名  | 指標の名称            | 指標の内容                                  | 現状（年度）         | 目標（年度）         | 増減     |
|-----|------------------|--|----------------|----------------|--------|
| 足立  | 1人1日あたりの家庭ごみ排出量  | 1人1日あたりの家庭ごみ(燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの合計)排出量 | 561.1 g (2015) | 470 g (2024)   | 16.2%減 |
| 板橋  | 区民1人当たり一日のごみ排出量  | 足立の内容に資源量を合算したもの                       | 709 g (2014)   | 670 g (2025)   | 5.5%減  |
| 江東  | 区民1人当たり1日のごみ量    | 足立と同じ                                  | 542 g (2013)   | 430 g (2024)   | 20.7%減 |
| 品川  | 区民一人一日あたりの収集ごみ量  | 足立と同じ                                  | 567 g (2011)   | 440 g (2022)   | 22.4%減 |
| 新宿  | 区民一人1日あたりの区収集ごみ量 | 足立と同じ                                  | 659 g (2011)   | 433 g (2022)   | 34.3%減 |
| 杉並  | 区民一人1日当たりのごみ排出量  | 足立と同じ                                  | 528 g (2012)   | 460 g (2021)   | 12.9%減 |
| 墨田  | 区民1人1日あたりごみ排出量   | 足立の内容に許可収集・持ち込みごみを合算したもの               | 585 g (2014)   | 585 g (2025)   | 現状維持   |
| 世田谷 | 区民1人1日あたりのごみ排出量  | 足立と同じ                                  | 579 g (2013)   | 429 g (2023)   | 25.9%減 |
| 台東  | 区民1人1日あたりごみ排出量   | 足立と同じ                                  | 585 g (2014)   | 515 g 以下(2025) | 12.0%減 |
| 豊島  | 一人一日あたり区収集ごみ量    | 足立と同じ                                  | 611 g (2012)   | 540 g (2018)   | 11.6%減 |

## 施策群2-2 資源化、循環利用に関する指標

| 区名 | 指標の名称  | 指標の内容                   | 現状（年度）       | 目標（年度）       | 増減        |
|----|--------|-------------------------|--------------|--------------|-----------|
| 足立 | 資源化率   | 年間ごみ総量のうち資源として選別したものの割合 | 19.7% (2015) | 27.0% (2024) | 7.3ポイント増  |
| 板橋 | リサイクル率 | 資源回収量÷(収集ごみ量+資源回収量)     | 17.9% (2014) | 27.7% (2025) | 9.8ポイント増  |
| 大田 | リサイクル率 | 足立と同じ                   | 19.0% (2009) | 30.0% (2018) | 11.0ポイント増 |
| 北  | リサイクル率 | 足立と同じ                   | 18.5% (2013) | 25.0% (2018) | 6.5ポイント増  |
| 江東 | 資源化率   | 足立と同じ                   | 25.7% (2013) | 30.3% (2024) | 4.6ポイント増  |
| 品川 | 資源化率   | 資源回収量÷(収集ごみ量+資源回収量)     | 26.0% (2011) | 31.0% (2022) | 5.0ポイント増  |
| 新宿 | 資源化率   | 同上                      | 21.1% (2011) | 35.0% (2022) | 13.9ポイント増 |
| 杉並 | 資源回収率  | 同上                      | 27.3% (2012) | 33.0% (2021) | 5.7ポイント増  |
| 墨田 | 資源化率   | 同上                      | 20.1% (2014) | 25.0% (2025) | 4.9ポイント増  |
| 豊島 | 資源化率   | 同上                      | 21.5% (2012) | 25.8% (2018) | 4.3ポイント増  |

## 施策群2-3 廃棄物の適正処理に関する指標

| 区名 | 指標の名称                       | 指標の内容                         | 現状（年度）                            | 目標（年度）                            | 増減               |
|----|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------|
| 足立 | 区内のごみ量（区の収集ごみ量+事業系の持ち込みごみ量） | 区が収集するごみ量と事業系持ち込み量の合計         | 181,248t (2015)                   | 161,400t (2024)                   | 11.0%減           |
| 板橋 | 事業系ごみの排出量（可燃持ち込みごみ）         | 事業活動に伴って排出されるごみのうち、可燃ごみの持ち込み量 | 29,520t (2014)                    | 減少                                |                  |
| 大田 | 区収集ごみ量／持ち込みごみ量              | 区収集の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの合計量        | 145,909t (2009)<br>65,301t (2009) | 122,324t (2018)<br>57,318t (2018) | 14.9%減<br>12.2%減 |
| 港  | ごみ量                         | 足立と同じ                         | 154,027t (2014)                   | 135,029t (2020)                   | 12.3%減           |
| 目黒 | 総排出量                        | 足立と同じ                         | 54,480t (2010)                    | 42,163t (2021)                    | 22.6%減           |

### 施策群3-1 公害の相談に関する指標

| 区名 | 指標の名称             | 指標の内容                | 現状（年度）                     | 目標（年度）       | 増減     |
|----|-------------------|----------------------|----------------------------|--------------|--------|
| 足立 | 工場等に関する公害苦情相談件数   | 区に寄せられた公害に関する苦情の相談件数 | 305件（2015）                 | 232件（2024）   | 23.9%減 |
| 板橋 | 公害苦情件数／<br>公害相談件数 | 足立と同じ                | 251件（2014）<br>2,182件（2014） | 減少           |        |
| 港  | 公害苦情件数            | 足立と同じ                | 345件（2013）                 | 275件以下（2020） | 20.3%減 |

### 施策群3-2 まちの美化活動に関する指標

| 区名 | 指標の名称                    | 指標の内容                  | 現状（年度）        | 目標（年度）        | 増減     |
|----|--------------------------|------------------------|---------------|---------------|--------|
| 足立 | 地域で自主的に美化活動をしている団体数      | 清掃美化活動実施団体支援事業に登録する団体数 | 248件（2015）    | 400団体（2024）   | 61.2%増 |
| 板橋 | 板橋クリーン作戦参加者数             | 板橋クリーン作戦参加者数           | 18,721人（2014） | 増加            |        |
| 江東 | 一斉清掃参加団体数                | 一斉清掃参加団体数              | 546団体（2013）   | 572団体（2024）   | 4.8%増  |
| 新宿 | ごみゼロデー、秋の地域ごみゼロ運動の年間参加者数 | 春と秋の合計                 | 7,868人（2011）  | 11,000人（2022） | 39.8%増 |
| 豊島 | 企業等の自主的な環境美化活動           | としまクリーンサポーターの登録団体数     | 74団体（2012）    | 100団体（2018）   | 35.1%増 |
| 港  | 地域の環境美化活動への参加者数          | 地域の環境美化活動への参加者数        | 4,684人（2013）  | 5,300人（2020）  | 13.2%増 |

### 施策群4-1 自然、生物とのふれあいに関する指標

| 区名 | 指標の名称                         | 指標の内容                       | 現状（年度）                     | 目標（年度）         | 増減     |
|----|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------|--------|
| 足立 | 生物とふれあう事業の参加者数                | 区が実施し、生物とふれあう機会が含まれる事業の参加者数 | 300,508人(2015)             | 330,600人(2024) | 10.0%増 |
| 板橋 | グリーンフェスタ参加者数/<br>緑のガイドツアー参加者数 | 区民参加のまちづくり運動への参加者数          | 8,073人(2014)<br>102人(2014) | 増加             |        |
| 北  | 区内生きものの調査結果を活用した学習会等の参加者数     | 自然ふれあい情報館への来館者数             | 502人(2013)                 | 増加             |        |
| 杉並 | 自然観察会等への参加者数                  | 区が実施する自然観察会への参加者数           | 168人(2012)                 | 300人(2021)     | 78.6%増 |

### 施策群4-2 生物多様性の理解促進に関する指標

| 区名 | 指標の名称                     | 指標の内容                     | 現状（年度）     | 目標（年度）      | 増減   |
|----|---------------------------|---------------------------|------------|-------------|------|
| 足立 | 区民参加型の生物調査の参加者数           | 区が実施し、区民が参加する生物調査の参加者数    | 40人(2015)  | 200人(2024)  | 5倍増  |
| 北  | 区内生きものの調査結果を活用した学習会等の参加者数 | 自然ふれあい情報館への来館者数           | 502人(2013) | 増加          |      |
| 台東 | 「ビオトープ調査隊」の実施             | 小学生対象とした、自然体験プログラム講座の実施回数 | 24回(2015)  | 24回(2019)   | 現状維持 |
| 豊島 | 生きもの調査に参加する区民の数           | 区民参加型モニタリング調査の参加者数        | 未実施        | 200人(2018)  | 皆増   |
| 港  | 生物多様性みなとネットワークの登録団体数      | 生物多様性みなとネットワークの登録団体数      | 20団体(2014) | 100団体(2020) | 5倍増  |

### 施策群4-3 自然環境の保全、創出に関する指標

| 区名 | 指標の名称      | 指標の内容                              | 現状（年度）        | 目標（年度）        | 増減       |
|----|------------|------------------------------------|---------------|---------------|----------|
| 足立 | 樹木被覆率      | 区の面積のうち、樹木に覆われている面積の割合             | 8.3% (2015)   | 8.7% (2024)   | 0.4ポイント増 |
| 板橋 | 区全体の植生被覆率  | 樹木、樹林に覆われた部分と草地、農地を加えた面積の割合        | 18.28% (2014) | 21.0% (2025)  | 2.7ポイント増 |
| 大田 | 緑被率        | 航空写真等によって上空から見たときのみどりに覆われている面積の割合  | 20.47% (2009) | 21.0% (2018)  | 0.4ポイント増 |
| 北  | 緑被率（1平米以上） | 同上                                 | 19.05% (2013) | 20.0% (2019)  | 0.9ポイント増 |
| 江東 | 緑視率        | 路上に立った人の視野に占める草木の緑の割合              | 15.4% (2013)  | 22.0% (2024)  | 6.6ポイント増 |
| 品川 | みどり率       | 緑地に公園内の緑に覆われていない部分と河川等の水面を加えた面積の割合 | 21.2% (2009)  | 22.6% (2021)  | 1.4ポイント増 |
| 新宿 | 緑被率        | 航空写真等によって上空から見たときのみどりに覆われている面積の割合  | 17.87% (2011) | 18.47% (2022) | 0.6ポイント増 |
| 杉並 | 緑被率        | 同上                                 | 22.2% (2012)  | 25.0% (2032)  | 2.8ポイント増 |
| 墨田 | 緑被率        | 同上                                 | 11.4% (2014)  | 13.0% (2025)  | 1.6ポイント増 |
| 台東 | 緑被率        | 同上                                 | 12.3% (2010)  | 14.5% (2019)  | 2.2ポイント増 |
| 豊島 | 緑被率        | 同上                                 | 12.9% (2009)  | 13.0% (2018)  | 0.1ポイント増 |
| 港  | 緑被率        | 同上                                 | 22.5% (2009)  | 24.0% (2020)  | 1.5ポイント増 |
| 目黒 | 緑被率        | 同上                                 | 17.1% (2010)  | 20.0% (2021)  | 2.9ポイント増 |

## 施策群5-1 環境意識の向上に関する指標

| 区名 | 指標の名称                               | 指標の内容   | 現状（年度）                       | 目標（年度）                       | 増減                   |
|----|-------------------------------------|---|------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 足立 | 環境に配慮した製品を選んで使う人                    | 世論調査で環境に配慮した製品を選んで使うと答えた人の割合  | 15.3% (2015)                 | 25.0% (2024)                 | 9.7ポイント増             |
| 板橋 | エコ生活(アクション9)の実施状況                   | 省エネに関する9項目の実施状況をイベントでのアンケートで集計  | 75.0% (2014)                 | 100.0% (2025)                | 25.0ポイント増            |
| 杉並 | 環境に配慮した行動をしている人の割合                  | 区民意向調査で5項目（省エネ行動、環境に配慮した買い物、ごみの分別、ごみの減量、自転車や公共交通の利用）をいつもしている、おおむねしているという人の割合          | 77.9% (2012)                 | 100.0% (2021)                | 22.1ポイント増            |
| 台東 | 環境配慮行動の取組割合（区民）<br>環境配慮行動の取組割合（事業者） | 計画策定にあたりアンケート調査を実施し、18項目の行動の実施状況と、15項目の省エネ再エネ機器の導入状況、導入意向を数値化した。毎年調査はしないので、数字は把握できない。 | 87.8% (2014)<br>83.3% (2014) | 90.0% (2019)<br>90.0% (2019) | 2.2ポイント増<br>6.7ポイント増 |

21

## 施策群5-2 環境学習、人材育成に関する指標

| 区名 | 指標の名称                      | 指標の内容                            | 現状（年度）      | 目標（年度）        | 増減      |
|----|----------------------------|----------------------------------|-------------|---------------|---------|
| 足立 | 環境学習プログラムに参加して、修了した人の数（累計） | 環境学習プログラムに参加した人のうち、一定の要件を満たした人の数 | 193人 (2015) | 2,000人 (2024) | 10.4倍に増 |
| 江東 | エコリーダー養成講座修了者数             | エコリーダー養成講座修了者数                   | 292人 (2013) | 510人 (2024)   | 1.75倍に増 |
| 目黒 | 環境推進員養成講座修了者数              | 地域の環境活動のリーダーを養成する講座を修了した人の数      | 63人 (2010)  | 236人 (2021)   | 3.75倍に増 |

## 施策群5-3 環境保全活動の拡大に関する指標

| 区名 | 指標の名称                             | 指標の内容                             | 現状（年度） | 目標（年度）      | 増減 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------------|--------|-------------|----|
| 足立 | エコ活動ネットワーク足立の参加団体が実施した自主的な環境保全活動数 | エコ活動ネットワーク足立の参加団体が実施した自主的な環境保全活動数 | 未調査    | 250回 (2024) |    |

14区の中に指標を定め、区以外の団体が実施している活動数について具体的な目標を設定している区はなかった。